

第65回 筑波学校体育研究会・夏期研修会のご案内

日一日と樹々の緑が鮮やかな輝きを見せ、初夏の訪れを感じる季節になりました。皆様、ご多忙の日々をお過ごしと存じます。

さて、小学校新学習指導要領の改訂から早くも5年が経過しました。その間、教育現場はコロナ禍の対応に終始し、新しい指導要領の考え方や教育システムに則った授業研究が十分に実践されていないように思われます。そこで、今年度も『**体育科：授業づくりのポイントを考える・Ⅱ**』というテーマを掲げ、第65回夏期研修会をリモートで開催することにしました。昨年度のテーマを踏襲しつつも After コロナに向けた体育授業総チェックという視点から小学校体育科の授業づくりのポイントについて議論を深めるとともに、若手教員に向けた体育科の授業づくりの基礎基本を提案したいと考えています。

例年通り暑い時期のリモート開催となりますが、お知り合いの先生方をお誘いの上、是非ご参加いただければ幸いです。

令和4年5月吉日

筑波学校体育研究会

会長 山本 悟

理事 一同

1. テーマ **体育科：授業づくりのポイントを考える・Ⅱ**

2. 期 間 **令和 4年 8月 6日（土） 13：00～16：40頃**

3. 会 場 **オンライン（Zoom ミーティング 入室開始 12:30）**

4. 会 費 **1,000円**

5. 申し込み **こくちーずプロ**
下記 URL よりお申込みください

申し込み用

QRコード



[第65回筑波学校体育研究会・夏期研修会 2022年8月6日（オンライン） - こくちーずプロ \(kokuchpro.com\)](https://www.kokuchpro.com)

※申し込みは 8月3日（水）まで

※研究会の資料と Zoom の URL は8月4日（木）にメールで配信します。必ずご確認ください。

※携帯電話のキャリアメール（@i.softbank.jp、@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp）での登録はお控え下さい。

事務局からのメールが届かないことがあります。

※Gmail(@gmail.com)の場合、事務局からのメールが迷惑メールフォルダに入ることがあります。

迷惑メールフォルダも随時ご確認ください。

6. 定 員 **300名**

7. 主 催 **筑波学校体育研究会**

8. 日 程

	13:00	13:10	14:20	14:30	15:10	15:20	16:40頃	
8月6日(土)	受付	開会 行事 会長 挨拶 事務 連絡	①授業研究 4年生 山崎 和人 ◇研究協議	休 憩	②低・高学年の授業 づくり 発達に応じた授業づくりのポ イントを考える ※2講座のうちどちらか選択 ◇ 低学年 平川 譲 ◇ 高学年 眞榮里 耕太 ※ 古屋賞発表	休 憩	③領域別！ グループワーク 授業づくりのポイントを考え る ※5講座のうちどちらか選択 器械運動（清水） ボール運動（木下） 体づくり運動（山本） 陸上運動（坂野・松本） 水泳運動（夏莉）	閉会 行事 会長 挨拶 諸連絡

※問い合わせ先 **筑波大学附属小学校・体育教官室 TEL&Fax 03（3946）1948（直通）**

9. お支払いについて

こくちーずプロ

(クレジットカード払い・銀行振り込み)

- ・期日までに入金がお済みでないとキャンセルになってしまいますのでご注意ください。
- ・キャンセル時の返金につきましては、システム利用料、振込手数料等を差し引いた金額の返金となります。
- ・領収書につきましては、入金が完了した際に自動送信されるメールからダウンロードしてご活用ください。領収書はこのダウンロード版のみです。宛名、発行者等の変更には対応できません。あらかじめご承知おきください。

※下記ホームページでも同じ案内を掲載しています

(ファイル変換の都合で日程表の時刻がずれる場合があります)。

<http://www.catv296.ne.jp/~tsukuba-taiiku/>

10. 古屋賞投稿規定

「古屋賞」寄稿規定

- 1 本賞に寄稿できるのは、筑波学校体育研究会会員に限る。会員は、本年度を含む3年以内の夏期研修会参加者とする。ただし、寄稿論文の研究者が複数の場合には、その中の一人が会員であればよい。
- 2 寄稿論文は未発表のものに限る。寄稿内容は、原則として教科体育及び学校体育（体育的行事、教科外体育など）に関する実践研究とし、研究目的・研究方法・研究結果・結論とその根拠等を明確にし、研究の性格によっては追試が可能なように文章を作成する。
- 3 提出原稿は、図表や写真のコピーを含めてA4版用紙6ページ以内とする。
- 4 原稿の文章は、パソコンにより作成し、図や表はそのまま印刷できるように作成し、各図表にはタイトルを付ける。
- 5 入賞論文には、表彰状と些少の研究奨励金を授与する。なお、入賞論文は印刷して夏期研修会参加者に配布する。また、選外で顕著な努力が認められた論文に金一封を授与する。

「古屋賞」について

長く理事長を務められ、本会の中心的役割を担ってこられた古屋三郎先生が平成12年6月にご逝去されました。長年の先生のご功績に対し、「古屋賞」を設けております。

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。

~~今年度の募集は致しましたが、上記寄稿規定をご覧になり、来年度に向けてご準備いただければ幸いです。~~

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。また、入賞論文については、参加者に配布することとします。

応募規定は上記の通りです。

◆投稿の方法

論文データを7月25日（月）までに下記へお送りください。

kakikennsyuukai@yahoo.co.jp

※赤ライン・赤文字は令和4年6月19日修正